

人材育成指標 改訂のポイント

教職の素養

- 教職の素養については、教員生活を通じて、常に磨き続ける資質・能力であるという捉えから、キャリアステージを貫く姿として設定しました。
- 人権感覚及び多様性の尊重については、本市がこれまで大切にしてきた人権尊重の精神を基盤とする教育活動の推進を踏まえるとともに、児童生徒にとって自分自身が最大の教育環境であるという自覚を常にもち続けることが求められているため、今回の改訂では強調して表記しました。

専門性

- 日々の教育活動の中で、児童生徒一人ひとりの豊かな成長を支えていくために、特別な配慮や支援を必要とする子どもを含むすべての子どもを深く理解することは欠かせません。また、授業は目の前にいる児童生徒とともに創り上げる営みであることから、授業力の向上を図る上でも、子どもを深く理解することが大切です。横浜市では、これまでも「子ども理解」を教職員の専門性を支える土台に据えてきましたが、よりよい指導や支援においては、一人ひとりの子どもの実態に応じる必要があることから、「特別な配慮や支援を必要とする子どもを含むすべての子ども理解」と表記しました。
- 教職員の「経験」や「勘」、児童生徒との日々の関わりに加え、様々な場面で「ICTや情報・教育データの利活用」を進めることは、一人ひとりの児童生徒をより多面的に、深く理解することにもつながります。専門性やマネジメント力の向上を図る上で大切な視点として「ICTや情報・教育データの利活用」を位置付けました。
- 「児童生徒理解に基づいた指導・支援」は「生徒指導提要」に基づき整理しました。「発達支持的生徒指導」や「課題予防的生徒指導」の充実が生徒指導上の諸課題の未然防止や再発防止につながることを捉え、先手型の常態的・先行的生徒指導を実践していくことの大切さを示しました。

マネジメント

- 「学校づくり」の視点に「カリキュラム・マネジメントの推進」が加わりました。この力は授業力とも密接に関わるため、学校教育目標の実現に向けて、教育課程の実施・評価・改善の一連の流れを、日々の授業づくりや授業改善と紐づけていくことが大切になります。
- 「教育課題に関する対応」については、時代や社会の潮流を読み解き、教育の方向性を的確に捉え、横浜市の教職員としてより一層理解を深め、教育活動に生かしていこうとすることが大切になります。

自分らしく「なりたいわたし」になる

急激に変化する時代において、子どもたちの成長を担うわたしたち教職員にとって、「学び続ける姿勢」がより一層重視されています。今回、人材育成指標の改訂では、横浜市の教職員として身に付けるべき資質・能力をキャリアステージごとに示しました。子どもたちのために自らの力を高めることは、教職員としての自身のキャリアを積み重ねることにつながります。人材育成指標を活用し、教職員としてのキャリアデザインをより具体的に描きましょう。そして、その実現に向けてセルフ・マネジメントを通して主体的に学び続け、資質・能力の向上を図っていきましょう。

主体的なキャリアデザイン

児童生徒同様、わたしたち教職員も多様な存在です。一人ひとりが自らの専門性を高め、強みを存分に発揮していくことが求められます。そのためには、これまでの児童生徒や保護者との関わりや様々な経験を通して、どう成長したのかを見つめ、これからの目指す姿、そのためにすべきことは何かを考えた上で歩んでいくことが大切です。自分を作るのは自分です。「教職員としてどう在りたいのか。」日々の教育活動の中で、節目節目で立ち止まり、自分自身へとベクトルを向けて考えてみましょう。



学び合う教職員集団

「教職員の学びは児童生徒の学びと相似形」と言われています。校外研修や自己研鑽による個人の学びに加え、現場の経験も含む同僚との対話や振り返りの機会など、協働的な学び合いが資質・能力の向上には欠かせません。キャリアステージの変化とともに、自己の成長に加えて仲間の成長を支援する役割も増えていきます。校内の人材育成に取り組み中で、さらに身に付けるべき資質・能力が明確になり、自分自身もさらに成長することでしょう。児童生徒のロールモデルとして、学び合う教職員集団の構築を目指しましょう。



＊ キャリアステージ一覧 ＊

	えがく 着任時の姿	つくる 第1ステージ	たかめる 第2ステージ	みがく 第3ステージ	主幹教諭
	自己の成長・自己開発の視点		チーム学校の一員としての視点		
各ステージの説明	学び続ける姿勢をもち、教職に対する志を高めるステージ	教員として、資質・能力の基盤をつくるステージ	周囲によりよく働きかけ、リーダーシップを発揮してチーム力を高めるステージ	高い専門性やマネジメント力を発揮し、学校全体のチーム力を高めるステージ	学校運営の中核となり、広い視野をもち、校内外をマネジメントするステージ
それぞれのステージで求められる姿	<ul style="list-style-type: none"> 「自ら学び 社会とつながりともに未来を創る人」をはぐくむために、学び続け、子どもに寄り添い、支えようとする姿 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の強みや弱みを捉え、教員としての資質・能力を高めている姿 チーム学校の一員としての役割について、責任をもって果たそうとしている姿 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の資質・能力を自覚し、必要な資質・能力を磨こうとしている姿 身に付けた資質・能力を生かし、進んでリーダーシップを発揮している姿 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の資質・能力を磨き続け、チーム力の向上及び人材育成に取り組んでいる姿 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標の実現に向けて、主幹教諭としての自覚と責任をもち、マネジメントを行っている姿

改訂します!

教諭等・主幹教諭版

横浜市 人材育成指標【教諭等・主幹教諭版】

【教諭等・主幹教諭版】はここが変わります!

キャリアステージ

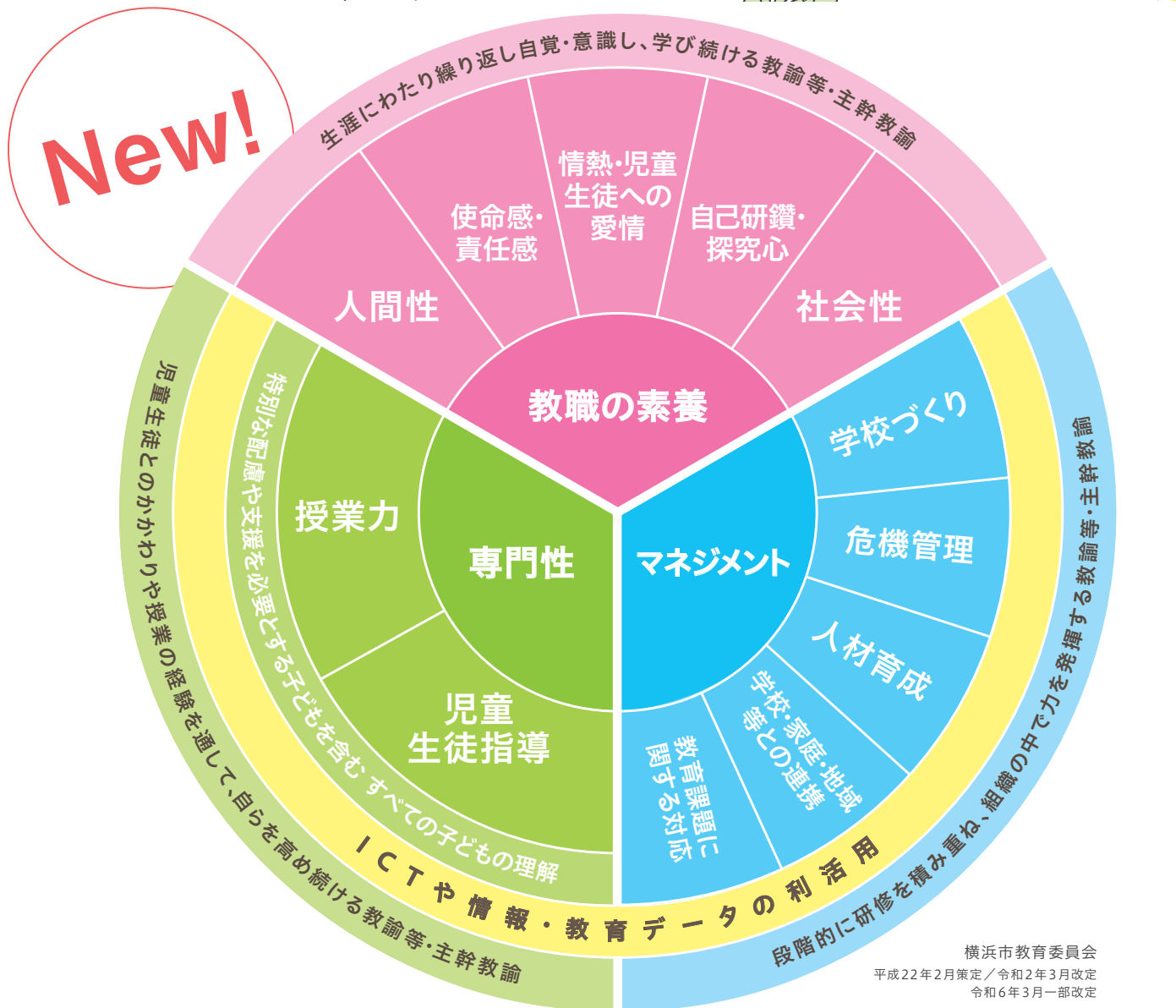
経験や役割を意識して、現状把握や目標設定を行うことがより求められます。それぞれのステージに示された姿をイメージすることが大切です。

特別な配慮や支援を必要とする子どもを含むすべての子どもの理解

これまで指標に位置付けていた「子ども理解」をより重視し、日々の教育活動の中で、子どもたち一人ひとりの豊かな成長を支えていくことを大切にします。

ICTや情報・教育データの利活用

子どもたちの実態把握や授業改善、学校づくりや人材育成等、専門性やマネジメントのすべてに係る視点として重視していきます。



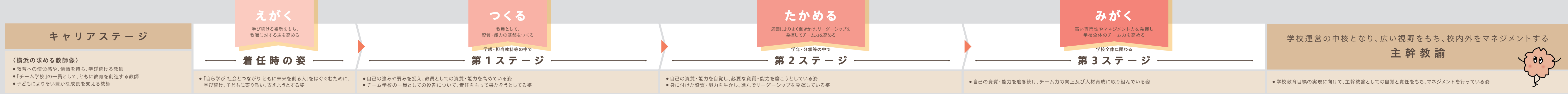
わたしを育てる わたしが育てる

横浜市 人材育成指標【教諭等・主幹教諭版】

この表は、横浜市の教諭等及び主幹教諭が身に付けるべき、3つの資質・能力と、それらを構成する要素及び要素を捉える視点について示しています。今回の改訂では、本市がこれまでも大切にしてきた「子ども理解」を引き続き土台としつつ、学習指導や児童生徒指導において、より一層、一人ひとりに応じた教育活動を進めていくために「特別な配慮や支援を必要とする子どもを含むすべての子ども理解」として表記しました。また、これからの学校教育においては、「ICTや情報・教育データの利活用」の視点を踏まえることが大切であることから、「授業力」「児童生徒指導」「マネジメント」をより効果的に行うための手段として視点に位置付けています。

目指す姿	資質・能力	要素	視点	
生涯にわたり繰り返して自覚意識し、学び続ける教諭等・主幹教諭	教職の素養	人間性	<ul style="list-style-type: none"> ●教育に関する理念 ●倫理観 ●共感する力・受け止める力 ●人権感覚 ●多様性の尊重 	
		使命感・責任感	<ul style="list-style-type: none"> ●教育公務員としての使命感 ●教育公務員としての責任感 	
		情熱・児童生徒への愛情	<ul style="list-style-type: none"> ●教育的愛情 ●誇りと情熱 	
		自己研鑽・探究心	<ul style="list-style-type: none"> ●向上心 ●創造力 ●課題発見・解決能力 ●自己省察 	
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーション能力 ●人間関係構築力 ●市民意識 ●信頼 	
児童生徒とのかかわりや授業の経験を通して、自ら高め続ける教諭等・主幹教諭	専門性	授業力	授業構想	<ul style="list-style-type: none"> ●育成を目指す資質・能力 ●単元(題材・主題等)構想と授業づくり ●深い教材研究 ●指導方法の工夫
			授業実践	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の授業改善 ●効果的なICT活用 ●データや根拠に基づいた指導や支援 ●妥当性・信頼性のある学習評価 ●指導と評価の一体化
		ICTや情報・教育データの利活用	児童生徒理解に基づいた指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●発達支持的生徒指導 ●課題予防的生徒指導 ●困難課題対応的生徒指導
			教育的ニーズに対応した指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な教育的ニーズ(不登校、外国につながる児童生徒、苦しさを抱えている児童生徒等)に対応した教育の推進 ●特別支援教育の推進
			学級・集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●学年・学級経営の充実 ●協働的な活動の充実
組織の中で力を発揮する教諭等・主幹教諭	マネジメント	学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●学校経営への参画 ●学年・学級経営の充実 ●組織づくりの推進 ●カリキュラム・マネジメントの推進 	
		危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ●安全配慮義務 ●コンプライアンス ●労務管理 ●メンタルヘルス 	
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ●セルフ・マネジメント ●教職員同士の学び合い 	
		学校・家庭・地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者との連携 ●地域及び関係機関等との連携 	
教育課題に関する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●今日的な教育課題の理解 			





各ステージの終了までに身に付けてほしい資質・能力を要素や視点ごとに示しています。一つ前のステージで身に付けた資質・能力については、次のステージに繰り返し記載していない場合がありますが、資質・能力は次のステージでさらに高め、磨いていくものであると捉えます。

教職の素養	人間性	児童生徒のよりよい成長を目指し、横浜市の教職員として高い倫理観や教育理念をもって、教育活動に当たっている。／ 児童生徒や教職員、保護者、地域等の思いに共感し、多様な価値観を認め、真摯に受け止めている。／ 「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送るための基盤となる、人権に対する確かな知識と豊かな人権感覚を身に付けている。
	使命感・責任感	教育公務員としての自覚をもち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行している。／ 「横浜市公立学校教職員行動基準」の内容を理解し、遵守している。／ 教職員の仕事の重要性を自覚し、教育者として誰からも信頼されるよう、行動している。
	情熱・児童生徒への愛情	教育基本法で定める「教育の目的」及び「教育の目標」を踏まえ、児童生徒に教育的愛情をもって接している。／ 横浜市の教職員として、誇りと情熱をもって、教育活動に当たっている。／ 組織における自らの役割と責任を自覚し、職務を遂行している。
	自己研鑽・探究心	自己研鑽に努め、向上心をもって学び続けている。／ 児童生徒、教職員との関わりの中で、個や学級及び学校の課題を捉え、それらの解決に向けて取り組んでいる。／ 上司や同僚からの指導・助言を真摯且つ謙虚に受けとめるとともに、自己分析を図り、日々の職務に生かしている。
	社会性	周囲の状況や相手の思い、考えを汲み取り、自分の考えを適切に伝えている。／ 児童生徒や教職員、保護者、地域等と積極的に関わり、人間関係を築いている。／ 自らが、児童生徒の人格形成に関わる地域の一員であることを自覚し、教育活動に当たっている。

特別な配慮や支援を必要とする子どもを含むすべての子どもの理解	授業力	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	資質・能力を身に付けている各キャリアステージの姿			
				着任時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
専門性	授業構想	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	担当する学年や教科等で育成を目指す資質・能力を理解し、児童生徒の実態に応じて単元を構想している。	担当する学年や教科等で育成を目指す資質・能力を深く理解し、児童生徒の姿を具体的にイメージして単元構想している。	学年間の系統性や、教科横断的な視点を持ち、児童生徒の状況に即して単元づくりの質的な向上を図っている。	単元づくりの質的な向上・改善のために、学校内外の資源を多面的・多角的に把握し、学校として効果的に連携・活用できるよう、主体的に働きかけている。
				授業で育成を目指す資質・能力を意識し、その実現のために児童生徒の実態に応じた多様な指導方法を工夫・検討するなどして、授業を構想している。	授業構想に必要な専門性を高め、深い教材研究に基づいて授業を構想している。	授業構想に必要な専門性を磨き、学びの充実を図るとともに、他の教職員等の授業構想を支援している。	学校全体の授業力向上に向けて、教職員間で連携し、学びの充実に向けて教材等を活用できるよう、主体的に働きかけている。
	授業実践	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業を振り返り、自己の課題を捉えたり、進んで指導・助言を取り入れたりして、授業改善に取り組んでいる。	授業を参観する機会を積極的にもつとともに、自分の授業を参観してもらうなどで、児童生徒の姿や他者からの指導・助言を基に授業改善に取り組んでいる。	「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善について、その実践を積極的に共有・発信したり、授業者の課題意識や授業づくりの意図を尊重した指導・助言を行ったりしている。	校内授業研究等を生かして、学校として日常的に授業改善が推進されるよう、主体的に働きかけている。
				育成を目指す資質・能力を育むために、効果的なICT活用を日常的に検討・導入したり、ICTを活用して把握した児童生徒の姿を基に、授業改善を図ったりしている。	育成を目指す資質・能力を育むために、日常的にICTや教育データを活用して、効果的に授業を実践したり、改善したりしている。	学校全体のICT活用指導力の向上に向けて、データや根拠に基づいた授業改善について発信したり、授業におけるICT活用に関する校内の連携を促進したりしている。	学校全体のICT活用指導力の向上に向けた取組を主体的に実践したり、教職員間で連携して仕組みを構築したりしている。
	児童生徒理解に基づいた指導・支援	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	評価規準や評価方法を明確にし、集団の中の個々の児童生徒の学習状況を把握し、妥当性・信頼性のある学習評価を行っている。	児童生徒の実態に応じた多様な評価方法を工夫し、一人ひとりに必要な指導・支援を行っている。	児童生徒の資質・能力をさらに伸ばすために指導・支援を行ったり、妥当性・信頼性のある学習評価の実現に向けて他の教職員等に対して適切な指導・助言を行ったりしている。	児童生徒の資質・能力を育むための指導と評価の一体化に資する取組を日々実践し、学校として学習評価の工夫・改善が行われるよう、主体的に働きかけている。
				全ての児童生徒に対し、一人ひとりの発達過程をいかに支えるかという視点に立ち、日々の教育活動を行っている。	受容的・共感的な態度で児童生徒に関わり、学年等のチームで学習指導等と関連付けながら発達支持的生徒指導を行っている。	組織的に児童生徒理解を図るよう、周囲の教職員に働きかけたり、発達支持的生徒指導の充実に向けて、適切な指導・助言を行ったりしている。	必要に応じて管理職及び校内外の各組織や関係機関とも連携する等、組織的に児童生徒理解を図る仕組みを構築し、発達支持的生徒指導の充実を図っている。
	教育的ニーズに対応した指導・支援	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	児童生徒の実態把握に向けて、日々の観察や調査データ等を活用して情報収集し、課題を早期に発見するとともに、未然防止教育及び対応に取り組んでいる。	収集した情報等を活用し、学年等のチームで協働して課題の早期発見に努めるとともに、より実効性のある未然防止教育及び対応を推進している。	生徒指導に係る課題の早期発見やより実効性のある未然防止教育及び対応について、学校全体で組織的に実践できるよう周囲の教職員に働きかけたり、適切な指導・助言を行ったりしている。	生徒指導に係る課題の早期発見、より実効性のある未然防止教育及び対応の充実に向けて、管理職と連携し、学校の課題を捉え、組織的な解決に向けた取組を推進している。
				いじめ等の特別な指導・援助を必要とする特定の児童生徒に対し、一人で抱え込まず早期発見と即時対応に向けた報告・連絡・相談の重要性を理解し、協働的に対応している。	特別な指導・援助を必要とする特定の児童生徒に対し、学年等のチームで現状を的確に把握し、早期発見と即時対応に向けて、校内組織等と連携を図り、取り組んでいる。	特別な指導・援助を必要とする特定の児童生徒に対し、校内組織だけでなく、関係機関と連携しながら、より適切な早期発見と即時対応及び継続的な支援を、学校全体で組織的に実践できるよう推進している。	特別な指導・援助を必要とする特定の児童生徒に対し、より実効性のある早期発見と即時対応のために、学校の課題を捉え、組織的に解決し、継続的に支援できる仕組みを構築している。
	学級・集団づくり	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	児童生徒の実態や保護者の願い、教育的ニーズを捉え、他の教職員等と協働し、適切な指導・支援を日常的に行っている。	児童生徒の多様な教育的ニーズに対応するためのよりよい指導・支援について校内で共通理解を図り、連携しながら行っている。	校内組織や関係機関と連携し、教育的ニーズへのよりよい対応の視点から教育内容及び支援体制の充実を図っている。	児童生徒の教育的ニーズに的確に応える多様で柔軟な仕組みや環境づくりを推進している。
				あらゆる教育の場で、一貫した適切な指導・支援や合理的配慮を提供するため、特別支援教育に係る知識・理解の向上を図っている。	特別な支援教育を校内で推進していくために、児童生徒一人ひとりの実態や保護者の願いを捉えるとともに、他の教職員と連携した指導・支援体制や教室環境の充実を図っている。	特別な支援教育を校内で推進していくために、自校の課題を的確に把握するとともに、他の教職員等に対して適切な指導・助言を行っている。	特別な支援教育の充実に向けて、校内における特別支援教育の中心的な役割となり、管理職及び各組織と連携するとともに、学校全体に主体的に働きかけ、組織的な対応を行っている。
学級・集団づくり	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	個別の教育支援計画、個別の指導計画を児童生徒本人、保護者と共に作成し、活用している。	実態把握をもとに、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、個別の教育支援計画、個別の指導計画を児童生徒本人、保護者と共に作成し、意図的・計画的な指導・支援の実践に向けて活用している。	学びの充実や課題の解決に向けて、個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用するとともに、校内組織や関係機関と連携しながら実践している。	児童生徒の教育的ニーズに的確に応える多様で柔軟な仕組みや環境づくりを推進している。	
			児童生徒との信頼関係を基にして、一人ひとりの自立や子ども同士のコミュニケーションを促進する学級・集団づくりを行うとともに、自己有用感を育むために、児童生徒が互いのよさを認め、高め合うことの大切さを実感できる場を日常的に設定している。	児童生徒一人ひとりの理解と把握を適切に行い、保護者との連携を大切に学年・学級経営を計画的に行うとともに、児童生徒の社会性や自主性を育むために日々の教育活動を展開したり、学校行事等を企画したりしている。	学年・学級経営を計画的に行うとともに、周囲の教職員とともに常に改善に努めるとともに、学校全体における集団づくりを活性化するための取組や働きかけを進んで行っている。	主体的に学校経営に参画し、学校の課題解決に向けて、管理職及び各組織と連携している。	
学校づくり	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	学校教育目標の実現に向けて、組織の一員としての役割を認識し、日々の教育活動の中で責任を果たしている。	学校教育目標の実現に向けて、チームでリーダーシップを発揮し、自校の学校経営の評価・改善のサイクルの中で教育活動を工夫・改善している。	ICTや情報・教育データを活用しながら課題を把握し、各組織と連携して、課題解決に取り組むとともに、効果的且つ効率的な組織運営に向けて他の教職員等を育成している。	主体的に学校経営に参画し、学校の課題解決に向けて、管理職及び各組織と連携している。	
			学校教育目標を踏まえ、児童生徒の実態に応じて教育課程の実施・評価・改善を意識した取組を行っている。	チームが協働して、教育課程の実施・評価・改善を意図的・計画的に行っている。	教育課程の実施・評価・改善を組織的にを行い、学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの推進役となっている。	地域の実態や学校教育目標・学校の教育活動全体を踏まえながら、他の教職員等や各組織や組織的に働きかけ、教育課程の不断の見直しを管理職とともに図っている。	
危機管理	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	防災及び防犯・安全、学校事故の未然防止の視点から、教職員間の情報共有を図りながら、自身の意識を高めるとともに、組織内での役割を果たしている。	防災及び防犯・安全、学校事故の未然防止の視点から、チームが円滑に機能するように適切な情報共有や情報提供を行っている。	防災及び防犯・安全、学校事故の未然防止の視点から、教職員間との情報共有を行いながら、学校全体で意識を高め、組織的な対応に向けた働きかけを行っている。	防災及び防犯・安全、学校事故の未然防止の視点から、学校の課題解決や組織的な対応に向けて、管理職や各組織と積極的に連携している。	
			教職員としての高い倫理観と規範意識に基づいて、コンプライアンスについて理解し、不祥事根絶の意識をもっている。	コンプライアンスを常に意識し、自らが服務規律を遵守するとともに、チームの一人ひとりに目を向け、不祥事根絶等の重要性を伝えている。	定期的にコンプライアンスの意識を高める対策を自ら講じるとともに、学校組織全体に目を向け、コンプライアンスの意識を日々高めていく重要性を伝えている。	学校組織全体に目を向け、コンプライアンスや服務規律の遵守の視点から教育活動を改善するとともに、管理職や各組織と連携し、学校としてコンプライアンスの意識を高める働きかけを積極的に行っている。	
人材育成	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	心身の健康の保持・増進に向けて、ICT等を活用した自身の業務改善及びメンタルヘルスケアを行っている。	心身の健康の保持・増進に向けて、ICT等を活用したチームの業務改善及びメンタルヘルスケアを行っている。	心身の健康の保持・増進に向けて、ICT等を活用した学校全体の業務改善やメンタルヘルスケアを組織的に推進できるような努めている。	心身の健康の保持・増進に向けて、ICT等を活用した学校全体の業務改善やメンタルヘルスケアを管理職や各組織と連携しながら、意図的・計画的に推進できるような努めている。	
			自らのキャリアデザインを描き、自己分析に応じて研修や研究会等を活用するとともに、他者と協働して資質・能力の向上に努めている。	自他の強みを生かしながら、チームの組織力を高めたり、チームの一人ひとりの成長を見据えた支援や関わりを行っている。	専門性やマネジメント力を発揮して、周囲の教職員の資質・能力の向上や次世代の教員の育成に資する働きかけを進んで行っている。	高度な資質・能力を生かし、学校組織全体を俯瞰して、管理職と連携をしながら、教職員の経験や強みに応じた人材育成や、日々の業務の中で効果的に行っている。	
学校・家庭・地域等との連携	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	学校が家庭や保護者と連携・協働することの大切さを理解し、自己の役割を果たしている。	学校が家庭や保護者と連携・協働することについてチームとしての関わり方を考え、推進している。	家庭や保護者とのよりよい連携・協働について、学校全体で共通理解を図りながら、周囲の教職員に対し、適切に指導・助言している。	家庭や保護者とのよりよい連携・協働について、学校全体で共通理解を図りながら、周囲の教職員に対し、適切に指導・助言している。	
			地域及び関係機関等との連携や取組の重要性を理解し、教育活動を行っている。	地域及び関係機関等との連携や取組の推進に向けて、チームで協働し、教育活動を行っている。	地域及び関係機関等との連携や取組の質的な向上に向けて、学校全体で共通理解を図りながら、意図的・計画的に教育活動を行っている。	地域及び関係機関等との連携や取組の充実に向けて、管理職及び校内外の各組織と連携して推進している。	
教育課題に関する対応	児童生徒指導	ICTや情報・教育データの活用	教育の方向性について背景や根拠を確認するなどして理解し、主体的に課題等に対応している。	時代や社会の潮流を読み解き、教育の方向性を的確に捉え、理解を深めるとともに、課題等に対応するために組織の一員として貢献している。	教育の方向性を踏まえた様々な対応について、校内で重要な役割を担い、学校全体での意識を高め、組織的な対応に向けた働きかけを行っている。	教育の方向性を踏まえた様々な対応について、管理職及び各組織と連携し、組織的な対応力を高めるために適切に指導・助言している。	